

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

第3回
地球環境未来都市シンポジウム

RESEARCH CENTER FOR THE FUTURE CITY DESIGN
CORRESPONDING TO GLOBAL ENVIRONMENT PROBLEMS
RESEARCH GROUP FOR THE FUTURE CITY DESIGN
CORRESPONDING TO GLOBAL ENVIRONMENT PROBLEMS
<http://future-cities.ynu.ac.jp>



【講演資料】 秦野市の生物多様性と植生景観図

広島大学 准教授
田中 貴宏 氏

足元から考える環境未来都市「秦野」

地下地質・水熱循環構造から解き明かす秦野市の環境と防災

2013年9月14日(土) 13:00 → 17:00

秦野市保健福祉センター (神奈川県秦野市緑町16番3号/☎0463-84-5511)

主催 横浜国立大学/環境工学秦野協励研究会/地球環境未来都市研究会 後援 秦野市/神奈川県/横浜市/都留市
地球環境未来都市研究会幹事会員 神奈川県政策研究・大学連携センター/横浜市温暖化対策統括本部/都留市/(独)海洋研究開発機構アプリケーションラボ/東京大学登坂博行研究室/横浜国立大学地域実践
教育研究センター/関日立製作所情報・通信システム社/大成建設機技術センター/東京ガス機エネルギー企画部/ESRI/ESRI Japan(株)

セッション 2 に入るに当たり、簡単に導入のお話をさせていただきたいと思います。

セッション 2 は「生物圏、秦野市の植生景観と鳥獣被害」ということですが、そもそもなぜ皆さんが生活されている秦野市で生物多様性や生態系について考えなければいけないのかというあたりから、話を起こしていきたいと思います。

1. なぜ生物多様性？ なぜ生態系？

生物多様性、生態系が身近にあることによって、私たちはさまざまなメリット、言いかえると「恵み」を受けています(図 1)。それらの「恵み」は大きく分けると 3 つに分けられると言われていまして、その一つに供給サービスがあります。生物多様性、生態系があることによって、私たちは食糧や木材、場合によっては燃料を得ることができるなど、様々な供給サービスという恵みを受けています。



図 1

次に、調整サービスです。森林で一時的に水を蓄えることによる下流での洪水制御や、次のセッションで話があるかと思いますが気候調整、水の浄化などのサービスがあるといわれています。

さらには、「くずはの家」のようなところでレクリエーションをしたり、精神的な安らぎを得たり、美しさを楽しんだりという文化的なサービスを受けています。

一方、当然ながらデメリットもあって、図 2 は野外活動センターでの写真ですが、マムシや、シカやイノシシなどによる鳥獣被害を受けることもあります。

なぜ生物多様性？ なぜ生態系？

負の影響、デメリット
(例: 鳥獣被害)



図 2

2. 秦野市は？

そういった観点から、皆さまが生活されている秦野市(図 3)を見てみますと、ヒトの生活圏と豊かな生態系がかなり近くに存在しています。ですので、当然ながら先ほど申し上げたメリットやデメリットがより大きな形で現れてくると考えられます。そのため、都市づくりにおいても、生物多様性や生態系のことを考えなくてはいけないのではないかということになるわけです。

秦野市は？



図 3

3. 研究会の役割

近年、秦野市だけでなく、生物多様性や生態系に関する社会的な関心が高まりつつあります。例えば、里山保全を考えてみましても、皆さんのような市民の方々や自治体の方々、我々研究者など、さまざまな立場の

人々の活動が求められています。これは当たり前と言えば当たり前なのですが、私たちは「科学的情報を集めて、それに基づいてそれぞれの立場の方々の中で方針や政策を決定していただき、里山保全や森づくりといった様々な活動につなげていく」というプロセスを想定しています。その中で、私たちの研究会の主な役割は科学的情報の収集・提供なのではないかと考えています(図4)。

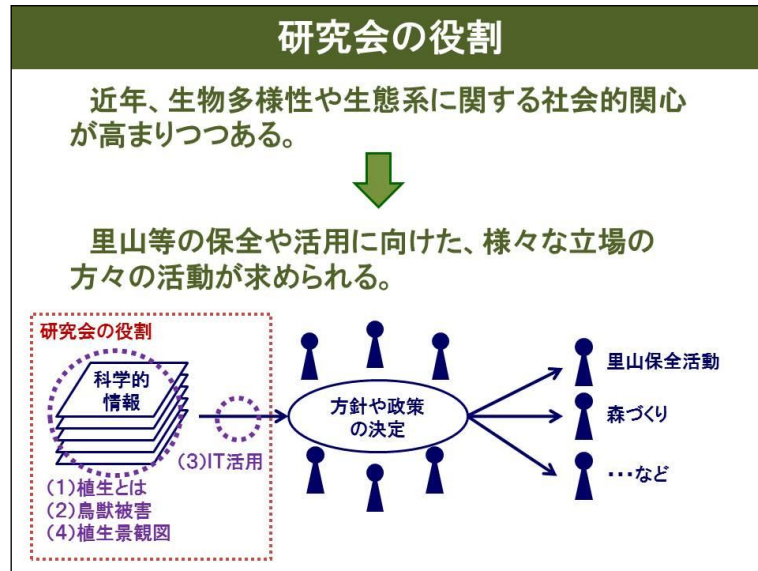


図4

本日はこの後3名の先生方にお話しいただくのですが、最初にお話しいただく大野先生と佐藤先生には、科学的情報ということで、植生の現状や鳥獣被害の現状について、お話をさせていただきます。次に「これらの科学的情報をどう活用して、実際に活動される方(市民の方や自治体の方など)に情報を提供していくのか？」という点についてですが、私たちはそこでITを使うことを想定しています。そういったIT活用でいろいろと試みをしている日立製作所の谷先生に、最後にお話をさせていただきたいと考えています。

以上で私の導入の話は終了とさせていただきます、先生方のお話に入らせていただきます。